



編集	SEF事務局
連絡先	080-8865-0951
URL	http://sef-jpn.org

巻頭のことば「マイクロプラスチック」

理事 坂下幸司

「海洋ゴミの犠牲者、死んだクジラ、胃袋にプラスチック 30 キロ」という記事を最近読んだ。専門家によるとクジラはプラスチックを排泄することが出来ず、バクテリアへの感染が原因で腹膜炎を起こしたとのことである。海のプラスチック汚染が叫ばれている。C&Eによると、年間800万トンのプラスチックが海洋流失している。私たちが年間2000個のマイクロプラスチックを口に入れているという。世界21カ国で取れた塩を使い食卓塩として販売されている39銘柄を調査したところ、その90%からマイクロプラスチックがでたそうである。海水から食塩を取るには水分を蒸発分離するのは手っ取り早い、しかし、これではプラスチックは分離できない。海水以外に岩塩があるから、岩塩を食卓塩にすればいいという考えに至るが、岩塩は海水塩ほどミネラル分が含まれていないそうである。さてどうするか。海のない長野県には山から採れる天然塩、「山塩」があるそうである。その元は温泉である。源泉から精製される量の収率は3%である。大量生産できないことから「幻の塩」と呼ばれている。

11 月度理事会より (第182回 11月28日)

事務局

1. 理事会検討会の開催 →可決承認	4. 平成30年10月度会計報告 →報告了承
2. スターデジタル通信-業務委託契約覚書 →可決承認	5. 平成30年10月度会員交流会議事録 →報告了承
3. 総合ハイテック社=営業支援業務の活動支援費受注 →可決承認	6. 支払調書のためのマイナンバー収集とそのスケジュール →報告了承

事業報告 (事務局)

担当理事 小栗貴史

10月24日(水)の15時~18時30分、出席者24名で会員交流会・懇親会が品川区中小企業センターで行われました。会員数は10月現在、正会員:28名、準会員:41名、賛助会員:4社で、正会員平均年齢は74.5歳です。事業の上半期(2018年4月1日~9月30日)進捗状況は予算並みに進んでいます。その他、事務局としてDBの整理や業務引継ぎを通じて標準化・マニュアル化を業務支援事業部の協力のもとで進めており、20を超えるマニュアルが運用中です。

また、6月の交流会での意見(会員交流会でコミ研・JJ研も成果発表してはどうか)に基づき、コミ研の長本担当理事から表題「日本の技術」について、研究成果発表がありました。その後の懇親会でも色々ご意見を頂きましたが、今後のSEF運営の参考にさせていただきたいと思います。次回は来年2月になりますが、多くの方のご参加をお願い致します。

SEFサロン (第108回報告・第109回案内)

担当理事 白崎善宏

《 第108回:報告 》 11月28日実施

演題:「サービスロボットとデザイン思考」

講師 久保田直行氏 首都大学東京大学院システムデザイン研究科 教授

産業用のロボットとは違ってサービスロボットは主に介護、案内、清掃、商品運搬等主として第3次産業に使われます。サービスロボットは人間とロボットが、共存、共生すること、すなわち「人に優しいロボット」をめざして開発されつつあります。その智能化技術やロボットシステム構築について事例を含めて紹介がありました。特に多くの若い世代の方が開発に携わっていることに新しい時代を感じました。講師の熱意が伝わり時間を忘れさせてしまう、感動的なご講演でした。

《 第109回:案内 》

日時:2019年1月22日(火) 18時 場所:青学会館内アイビーホール 1F「フェア」

演題:「食物工場(仮題)」 講師 大山敏雄氏 (株)アイ・エム・エー技術顧問 元キューピー(株)

11 月度会員動向

事務局

会員入退会 入退会者なし	11 月末日現在の会員数 正会員 : 28 名 準会員 : 41 名 賛助会員 : 4 社
-----------------	--